



和

2018-2019

第26回例会

RIテーマ BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

クラブテーマ 『「和」を以って～夢を～』

会報 No. 1070 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：西 崇秀 副会長：安田直樹 幹事：福井知裕 出席・会報委員長：長田徹也

平成 31 年 2 月 6 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：会計

国歌「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」唱和：柳瀬 秀昭 さん

「ロータリーの友」2月号読みどころ紹介：長本 康孝 さん

ゲスト なし

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	1月23日修正出席率	ビジター
48名	45名	5名	10名	77.78%	100%	1名

会長挨拶

西 崇秀 会長

2019年が明け、早いもので1か月が過ぎました。私は、毎年節分が来ると新しい年が始まったと実感します。節分の豆まきは、「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残り、「魔の目（魔目＝まめ）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じるということからきているようです。

本日は、新入会員のイニシエーションスピーチです。よろしくお願いいたします。

尾原 脩 ガバナー補佐挨拶

今年度7月から半年の活動に対する御礼と2月のIM、4月の地区研修・協議会、分区親睦ゴルフ会等、後半の活動への協力をお願いをされました。



本日のプログラム 「イニシエーションスピーチ」

柴田 國汎 さん 昨年11月に入会させていただきました。昭和44年生まれ、あと数ヶ月で50歳になります。福岡小学校、南部中学校を卒業、福井幹事と一緒にクラスになったこともあります。家業を手伝い、36歳で代表を譲っていただきました。37歳の時、自宅を改修したときの業者さんから青年会議所に誘われ、入会させていただきました。青年会議所のつながりがあって、二川小学校のPTA会長、豊丘高校のPTA役員もさせてもらっています。社業の事ですが、お花の先生をしていた母方の祖父が昭和31年企業しました。業界の協会に入会した事がきっかけで、剣山を持ち運ぶのに、蓋付きの剣山がほしい、プラスチック製のものがほしいとの声をきき、剣山を熱硬化性という工法で生産しました。次は植木鉢を射出成形機で作るようになりました。金型を交換すれば色々なものが作れることから、自動車や家電の部品の依頼が来るようになり、お花の先生が製造業へ足を踏み入れることになりました。その後、押し入れの中のブリキの衣装ケースをプラスチックで作るため、大型の射出成形



機を導入し、現在に至っています。これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

近藤 喜典 さん 昨年12月に入会させていただきましたありがとうございます。私は岩田小学校、東陽中学を卒業しました。大学は名城大学にはいりました。父が設計事務所をやっている



おり、建築は兄弟がやるから、おまえは土木をやれといわれ工学部で勉強をしました。その後、一条工務店に入社し、180人新入社員全員が営業職の中、1番の営業成績をとることができました。その後家内と出会い、結婚をしようと思ったとき、会社を辞めました。父に相談したところ、大村先生のところで秘書が空いていたので、お世話になりました。お金よりもやりがいなんだと言われ、手取りが12万になりました。結婚が決まっており、生活は家内に助けてもらいました。色々なことを指導頂き、その時に頂いた財産のおかげで幅広い視野の中で現在、活動をさせて頂いています。自分でも福祉サービスの事業を立ち上げ、現在従業員は60名程になりました。ロータリーに入会し、思ったことは、クリスマス会で皆で歌を歌ったり、誕生日にハッピーバースデーを歌ったりして豊かな大人な時間があるんだと感じています。今後ともご指導を頂きながら楽しい時間を共有させて頂きたいと思っております。

3分間スピーチ

白井 康仁 さん

現在、日本盆栽協会豊橋支部長をしています。盆栽は「BONSAI」と書けば世界中で通用するくらいに広まっています。絵画などと同じで、完成した盆栽を所有する楽しみ方と、自分で一から育て、創作する楽しみ方があります。私は後者の方です。ただ、盆栽は植物なので日々変化しています。庭木は門・玄関・部屋など、どの角度からでも見られるように作っています。それに比べ盆栽には正面があり、前からだけ見られるような形で作っています。自然に生えているものを模写して、鉢の中でどのように見せるか、奥の深い創作芸術です。



写真/原稿：馬淵 紀充 さん